

ロンドン、2019年2月12日

ロシアのエブラズ社から第6高炉更新に向けオートメーションシステムと電気設備を新たに受注

- プロセスオートメーションにより操業パラメータを最適化・コークス消費量を低減
- 完全なバーチャルシミュレーションで整備コストを低減
- プライメタルズテクノロジーズが同じくアップグレードした第7高炉は2018年初めから稼働中

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、ロシアの鉄鋼メーカーであるエブラズ社のニジニ・タギル製鉄所（EVRAZ NTMK）から、同製鉄所の第6高炉更新に向けたオートメーションシステムと電気設備を受注しました。数百万ユーロ規模となる今回の受注では、冗長性を持たせた複数の中央サーバーに、バーチャルシミュレーションを用いたオートメーションシステムとして、ベーシックオートメーション（レベル1）およびプロセス最適化システム（レベル2）を装備します。これにより、現在のみならず特に今後のアップグレードにおける整備コストが大幅に低減するほか、新たに導入されるプロセスオートメーションにより、炉の操業パラメータの最適化とコークス消費量の低減も実現できます。当社はこれまでに同製鉄所の第7高炉向けにもオートメーションシステムと電気設備を納入しており、同基は2018年3月初めに稼働を開始しました。今回更新される第6高炉の試運転は、2020年中頃までに実施される予定です。

ニジニ・タギル製鉄所は、ロシア中西部に位置するウラル連邦管区スベルドロフスク州ニジニ・タギル市にあり、溶銑490万トン、鋼材420万トンの年産能力を誇るロシア最大規模の一貫製鉄所です。製鉄および鋳業の拠点のひとつとしてロシアで有数の歴史をもち、主に鉄道用の車輪・レール、構造用鋼、パイプ、半製品を生産しています。

今回アップグレードの対象となった第6高炉は、2018年初めにその15年間にわたる稼働を停止しました。今後、ストックハウス、熱風炉、ガス浄化・除塵システムなどの二次的プラント設備を含めてこの

高炉は全て解体されることになっており、その後完全に再建され、既に稼働を始めている前述の第7高炉と共に、2020年からニジニ・タギル製鉄所に溶銑を供給する予定です。

当社が今回の受注を獲得した大きな理由としては、第7高炉向けに納入したオートメーションシステムと電気設備がエブラズ社から高い評価を得ていたことが挙げられます。同社向けのほかにも、当社はこの2年間に、ブラジル、ヨーロッパ、インドの高炉5基に向けてオートメーションシステムを納入しています。



プライメタルズテクノロジーズ製のオートメーションシステムおよび電気設備が設置されているニジニ・タギル製鉄所の第7高炉制御室。新たに更新される第6高炉にも、2020年中頃までに当社のオートメーションシステムと電気設備が設置される予定です。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下のURLよりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com